

# 学年通信

No. 6 2019. 6. 11 (火) 発行

岡山県立玉島商業高等学校 1年団

“進路を考えよう”

## 卒業生の声を聞く会

先週6月5日(水)に「卒業生の声を聞く会」が、ありました。6人の先輩が、会社・学校の様子、高校時代にどう頑張ったかを話してくれました。

### 【卒業生の言葉】

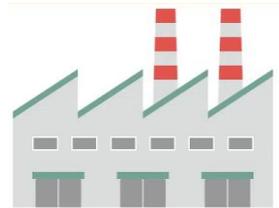
柚木 華穂先輩：JFE スチール（株）西日本製鉄所（バスケットボール部）



「男性に負けないオペレータを目指している。」

「頑張った分だけ自分の力になる。」

「感謝の気持ちを忘れず、  
1日1日大切に生きる」

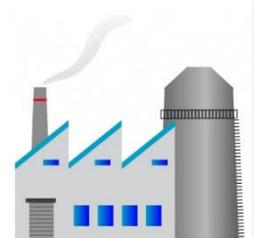


右橋 大耶先輩：倉敷化工（株）（野球部）



「常に結果を求められる。プレッシャーは、かかるけどやる気が出る。」

「メモを取ることが大事。  
2度同じことは聞けない。」



白神 広祐先輩：JX エネルギー（株）水島製油所（野球部）



「目標が決まったら、モチベーションを高く持つ。」

「1日2～3時間勉強した。」

「就職してからも勉強。事前準備をしていなければ、大事故につながる。」

「チームでがんばれる。」



井頭 愛先輩：中国短期大学→社会福祉法人四ツ葉会日中一時支援もくもく  
(バスケットボール部)



「笑顔・明るさ・健康が大事」  
「文章で伝える。自分で考えて動く。」  
「学びの毎日。」  
「自分の目で確かめる。」



原 彩香先輩：岡山済生会看護専門学校 (和太鼓部)



「悔しさを力にする。」  
「人の言いなりになりすぎない。」  
「最後まであきらめない。」



神田 美子先輩：岡山商科大学 (和太鼓部)



「興味があることを見つける。」  
「視野を広く持つ。」「難関校は、早めに取り組む。」  
「今はまだ途中、これからまだまだ続きがある。」



須田先生 (3年学年主任) のお言葉

「6人の先輩たちは、全員成績上位の生徒ばかりではない。しかし、目標が決まってからは、悔しさを力に変え、モチベーションを高く持ち、合格するために自分は今何をしなければいけないのか、何をすべきなのかを考え、最後まであきらめずに頑張った。」

6人の先輩たちは、いろいろと忙しい中みんなのために時間を作って、話しをしに来てくれました。まず、6人に共通に言えるのは、**高校3年間積極的に部活動**をしていたということ。そこで、社会人としてのマナー、礼儀、あいさつの大切さ、人間関係の作り方、そして忍耐力などを学んだと言っていました。併せて、社会人の先輩は、就職しても日々勉強を続けている。学生の先輩は、自分の目標へ向かってさらに努力を続けている。卒業生の声を聞いて、皆さんはこれからどのような3年間にしようと考えました。**高校生活は、まだ始まったばかりです。**